

#3
PATENT
450100-03345

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicants : Jun WATANABE et al.
Serial No. : 09/905,063
Filed : July 13, 2001
For : REMOTE CONTROL DEVICE AND
RECORDING/REPRODUCING APPARATUS AND VIDEO
SIGNAL RECORDING/REPRODUCING APPARATUS
Art Unit : 2615

745 Fifth Avenue
New York, New York 10151
Tel. (212) 588-0800

I hereby certify that this correspondence is being
deposited with the United States Postal Service as
first class mail in an envelope addressed to:
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231, on November 12, 2001

Glenn F. Savit, Reg. No. 37,437

Name of Applicant, Assignee or
Registered Representative

Signature

November 12, 2001
Date of Signature

CLAIM OF PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

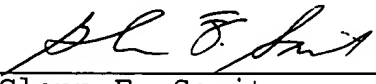
In support of the claim of priority under 35. U.S.C.
§ 119 asserted in the Declaration accompanying the above-entitled
application, as filed, please find enclosed herewith certified
copies of Japanese Application Nos. 2000-214745 and 2000-214746,
filed in Japan on 14 July 2000 and 14 July 2000, respectively,
forming the basis for such claim.

PATENT
450100-03345

Acknowledgment of the claim of priority and of the
receipt of said certified copy(s) is requested.

Respectfully submitted,

FROMMER LAWRENCE & HAUG LLP
Attorneys for Applicants

By: 

Glenn F. Savit
Reg. No. 37,437
Tel. (212) 588-0800

Enclosure(s)



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 7月14日

出願番号

Application Number:

特願2000-214745

出願人

Applicant(s):

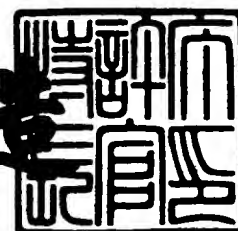
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月26日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000630503

【提出日】 平成12年 7月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G11B 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 渡辺 純

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 且本 敏幸

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 伊藤 夏男

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 国枝 俊介

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 山本 茂樹

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 永野 佳恵

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 北 幸則

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 吉津 博行

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 敏蔭 英樹

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100080883

【弁理士】

【氏名又は名称】 松隈 秀盛

【電話番号】 03-3343-5821

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012645

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707386

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 記録再生装置用遠隔制御装置及び映像信号記録再生装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録媒体への映像の記録を行うとともに、前記記録媒体の再生を可能と成した記録再生装置に使用される記録再生装置用遠隔制御装置であって、遠隔制御装置本体の第 1 の面に配置された、映像信号の記録停止を行う録画停止スイッチと、再生停止を行う再生停止スイッチと間を離間したことを特徴とする記録再生装置用遠隔制御装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の記録再生装置用遠隔制御装置において、前記録画停止スイッチと前記再生停止スイッチとの間に、チャンネル設定用スイッチを配したことを特徴とする記録再生装置用遠隔制御装置。

【請求項 3】 請求項 1 記載の記録再生装置用遠隔制御装置において、前記再生停止スイッチがジョインスティックであることを特徴とする記録再生装置用遠隔制御装置。

【請求項 4】 記録媒体への映像の記録を行うとともに、前記記録媒体からの再生を可能と成した記録再生装置に使用される記録再生装置用遠隔制御装置であって、遠隔制御装置本体の第 1 の面に配置された、映像信号の記録停止を行う録画停止スイッチと、再生停止を行う再生停止スイッチと間を離間し、前記再生停止用スイッチを前記遠隔制御装置本体の略中央に配したことを特徴とする記録再生装置用遠隔制御装置。

【請求項 5】 記録媒体に複数の映像信号とこれらの映像信号の内容を示す識別信号とを記録する記録手段と、再生時、前記記録媒体に記録された複数の映像信号の内容を示す識別信号を読み出し、一覧表示する表示手段とを有し、一覧表示する順番を、前記識別信号に基づいて並換えるとともに、並換えした順番に順次映像信号を再生する再生手段とを有したことを特徴とする映像信号記録再生装置。

【請求項 6】 請求項 5 記載の映像信号記録再生装置において、前記識別信号は、映像信号記録再生装置に配された放送信号受信回路により放送波より抽出した識別信号であり、放送日時、タイトル、分類から構成された第 1 の識別信号と、前記記録媒体からの再生が未だ行われていないことを示す履歴に関する第 2 の識

別信号とからなることを特徴とする映像信号記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、放送を録画及び再生するのに使用される記録再生装置用遠隔制御装置及び映像信号記録再生装置に関し、特に、記録媒体として、ハードディスク、又は光ディスクを利用したものに関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に、ビデオテープを利用した記録再生装置が知られており、このビデオテープを利用した記録再生装置の特徴として、録画と再生を時分割そして、瞬時に切換えることにより、映像信号を記録しながら、自由な再生を行うことが、不可能なものであった。

【0003】

また、一般的なハードディスクを利用したパーソナルコンピュータによる録画装置、及びソフトウェアも、市販されているが、専用の記録再生装置でないため、同時記録再生を行うことができない。

【0004】

更に、同時記録再生を行うことができないため、同時記録再生を前提としたマン・マシンインターフェースが採用されていないため、従来の管面表示と設定用のスイッチ操作とでは、同時記録再生を行うことができる記録再生装置に最適な操作環境を提供できていない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

同時記録再生を行えるようにすると、従来の映像信号の記録再生装置では、同一管面表示するようにした場合、同一管面表示上で、録画と再生との表示画を同時に表示することになり、一目で、どちらが録画か、再生か判断できない。

【0006】

更に、従来の記録再生装置及び遠隔操作装置（リモコン）では、同時記録再生

が可能なハードディスク、又は光ディスクを利用した記録再生装置に最適な構造、スイッチの配置及び表示がなされていないため、再生している画像の再生を停止する際に、誤って映像の記録を停止する可能性がある。

【0007】

そこで、本発明は、上述の如き、従来の記録再生装置では、提供されていなかった管面表示と記録再生等のスイッチ操作に関するマン・マシーンインターフェースを提供することを目的とする。

【0008】

本発明の他の目的は、新規なりモコンを提供することを目的とする。

更に、本発明の他の目的は、同時記録再生を行う際に、操作者が簡単に操作できるようにする新規な管面表示を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明記録再生装置用遠隔制御装置は記録媒体への映像の記録を行うとともに、この記録媒体からの再生を可能と成した記録再生装置に使用される記録再生装置用遠隔制御装置であって、遠隔制御装置本体の第1の面に配置された、映像信号の記録停止を行う録画停止スイッチと、再生停止を行う再生停止スイッチと間を離間したものである。

【0010】

また本発明映像信号記録再生装置は記録媒体に複数の映像信号とこれらの映像信号の内容を示す識別信号とを記録する記録手段と、再生時この記録媒体に記録された複数の映像信号の内容を示す識別信号を読み出し、一覧表示する表示手段とを有し、一覧表示する順番を、この識別信号に基づいて並換えるとともに、並換えした順番に順次映像信号を再生する再生手段とを有したものである。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態の例を詳細に説明する。

【0012】

図1は、本例の映像信号記録再生装置の正面の外観を示す図である。映像信号

記録再生装置本体 1 は、その前面に、本体電源スイッチ 2 を有し、装置の電源がオンとなった際に点灯するフロントランプ 3 により、装置の電源のオン／オフを示すものである。

【 0 0 1 3 】

これは、従来の映像信号記録再生装置では、記録状態、再生状態をカウンタ表示する表示部が使用されていたが、後述するように、ハードディスクや光ディスクを記録媒体とする同時記録再生装置では、カウンタ表示自体が不適切であり、管面表示に置き換えられているため、従来のような、5mm 径のランプや LED 等で、電源のオン／オフを表示すると、操作者が他のランプや LED と混同する可能性があるため、機器正面に横方向に長い、照明面積が広いランプを使用し、他のランプとの誤判別を防止している。

【 0 0 1 4 】

この本体 1 の前面には、タイマーによる録画の設定状態、つまり予約録画の設定状態を示す予約録画ランプ 4 があり、テープ、半導体メモリ等の他の記録媒体に録画された映像、音声、その他の情報をダビングする際に、本体内の記録媒体に記録された映像、音声、その他の情報の再生手順を決めて再生することを示すプログラム再生表示ランプ 5 がある。

【 0 0 1 5 】

このプログラム再生表示ランプ 5 は、この本体 1 及び後述リモコン 3 0 に設けられた記録再生に係るスイッチの内、再生を停止する際に使用するスイッチだけが、操作可能であることを示す。

【 0 0 1 6 】

この本体 1 の前面には、CS デジタル放送チューナとのプログラム・シンクロ録画を行うためのシンクロ録画ボタン 6、この本体 1 に接続された TV、モニターの管面を使用した記録再生及び諸設定を行うためのツールボタン 7、バックボタン 8、メニューボタン 9、リストボタン 1 0 及び共用ボタン 1 1, 1 2, 1 3, 1 4, 1 5 がある。共用ボタンの 1 1, 1 2, 1 3, 1 4 は、管面上に表示されるカーソルの上下左右移動を行う際に使用され、更に、再生一時停止、早戻し再生、早送り再生及び、再生停止に使用される。共用ボタン 1 5 は、再生を指示

する際に使用され、更に、管面メニューで、諸設定を決定する際の決定ボタンとして使用される。

【 0 0 1 7 】

図 2 は、この本体 1 の背面を示す図であり、電源コード 2 4 及び他機器への電源供給用の電源コンセント 2 5 があり、さらに、アンテナ及び T V への接続するための V H F / U H F 入出力端子 1 6 と、アンテナ線が V H F / U H F / B S 共用の場合に、分波器により V H F / U H F 入出力端子 1 6 と併用して使用される B S - I F 入出力端子 1 7 がある。

【 0 0 1 8 】

更に、B S デコーダと接続する際に使用される検波入出力端子 1 8 とビットストリーム入出力端子 1 9 が設けられている。この検波入出力端子 1 8 は、M U S E - N T S C コンバータに接続する際に、デコーダ A F C 入出力端子 2 1、デコーダ入力端子 2 8 と共に使用される。コンバータへの電源供給をオン／オフするコンバータ用電源スイッチ 2 9 が隣接して設けられている。

【 0 0 1 9 】

オーディオ信号及び映像信号の入出力に使用される入力端子 2 2, 2 7 及び出力端子 2 3, 2 6 が設けられている。

【 0 0 2 0 】

図 3 は、遠隔操作に使用されるリモコン 3 0 の上面を示し、映像信号記録再生装置本体 1 の電源をオン／オフする電源スイッチ 3 1 が配されている。尚、電源スイッチ 2, 3 1 は、マン・マシーンインターフェースに使用される回路のみをオン／オフするように設定されている。

【 0 0 2 1 】

このリモコン 3 0 の表面には、この本体 1 に設けられていない、録画関係に使用される録画ボタン 3 2、録画一時停止ボタン 3 3、録画停止ボタン 3 4、録画モニターボタン 3 5 と、画面表示及び残量表示用ボタン 4 1 及びビジュアルサーチボタン 4 2 が配されている。

【 0 0 2 2 】

更に、リモコン 3 0 の表面には、上述のボタンと離れて、この本体 1 に配され

たボタンと同様の機能を有するメニューボタン38、バックボタン39、リストボタン43、ツールボタン44があり、この本体1に配されたボタン11、12、13、14及び15と同様の機能を有するジョイスティック47が配され、操作方向と押圧により、管面上に表示されるカーソルの上下左右移動を行う際に使用され、再生一時停止、早戻し再生、早送り再生及び、再生停止に使用され、共用ボタン15は、再生を指示する際に使用され、更に、管面メニューで、諸設定を決定する際に使用される。

【0023】

リモコン30の長手方向で、録画関係のボタンと反対位置に、番組説明用ボタン46が配されている。

【0024】

本体1が、同時記録再生が可能のため、記録再生装置録画に関係するボタン群と再生に関するボタン群とがリモコンの表面で異なった位置に配されており、離れた位置関係に配することにより、録画と再生とを正確に操作可能となるようにしている。これに対して従来の記録再生装置では、例えば、録画の際に使用される録画ボタンと再生ボタンとが隣接して設けられており、このようなボタン配置では、録画と再生とを同時に操作する際の誤操作を招く可能性がある。

【0025】

本例のリモコン30では、単に操作ボタンの位置関係だけでなく、ボタン32、33、34、35とジョイスティック47とのように、スイッチ機構を変えることにより、操作時の判別を容易にするだけでなく、正確な操作が求められる再生機能に対して、ジョイスティック機構を採用することで、マン・マシーンインターフェース性を向上している。

【0026】

尚、再生時に使用される機能の内、頭出しに関しては、操作性が求められないため、ボタン40、46が使用され、再生機能に関係するメニューボタン38、バックボタン39、リストボタン43及びツールボタン44が、ジョイスティック47に近接して配されている。

【0027】

リモコン30の表面には、更に、チャンネル設定ボタン36、早見ボタン37、画面表示/残量ボタン41及び、ビジュアルサーチボタン42が、再生に関するボタン群と録画に関するボタン群との間に配され、距離をおくことにより、再生に関するボタン群と録画に関するボタン群の認識性を向上し、更に、誤判別の可能性を低くしている。

【0028】

図4は、リモコン30の側面に配されたTVの設定を行うボタン配置を示す。TVの電源のオン/オフを行うTV電源スイッチ73、入力を切替える入力切換えボタン74、チャンネルの移動を行うチャンネル+/-ボタン75、音量の増減を行う音量+/-ボタン76が配置されている。

【0029】

図6のように、リモコン30の裏蓋50を押圧しながら、裏蓋50をずらすことにより、図5に示す、裏蓋50により隠されていたプログラム設定等スイッチボタン群51～66が現れる。裏蓋50に隠されたスイッチ群51～66とは別に、リモコンの裏面には、図7に示す液晶表示装置67が配されており、リモコンの表面に配されたボタン（スイッチ）により操作される再生、録画等の機能は、管面を介して、実際に映像信号の再生や録画を行うのに対して、リモコン30の裏面に配された機能は、管面上に表示を行わなくても設定可能なGコード録画、タイマー録画に関する設定用のボタンが配されており、記録再生装置が接続されたTVモニター上で映像信号の再生表示や、録画面面の表示を行っている場合は、管面上に設定内容が表示される。

【0030】

図7の表示装置は、Gコード表示、録画モード表示、録画するチャンネル、録画時間、リモコンが操作する対象のテレビメーカー設定、クイックタイマー表示の他、乾電池消耗表示、転送表示がある。

【0031】

特に、乾電池表示は、録画装置本体に、表示装置が設けられていないため、リモコン設定時に、動作しない等の原因を把握するために必要である。

【0032】

図 5 に示すように、リモコン 3 0 の裏面には、内蔵のチューナのチャンネル＋／－ボタン 5 1、諸設定を転送する転送ボタン 5 2、録画モードボタン 5 3、設定を消去する取消しボタン 5 4、1 から 9 までの数字に対応する数字ボタン 5 5、設定時のカーソルの移動及び修正の支持を兼用する戻る／修正ボタン 5 6、入力の切換を行う入力切換ボタン 5 7、録画時間を 1 5 分単位で増加するクイックタイマーボタン 5 8、録画時の音声を切換える音声切換ボタン 5 9、Gコードの予約を行う Gコード予約ボタン 6 0、画質を設定する画質設定ボタン 6 3、対応する TV メーカーの切換えを行うリモコン設定ボタン 6 4、録画画像の検索に使用するインデックスを書込む・消去の設定を行うインデックス書込み・消去ボタン 6 5 及び、乾電池の消耗状態を表示する乾電池表示ボタン 6 6 からなり、上述数字ボタン 5 5 は、管面上に諸設定を表示する際に使用するセットアップボタン 6 1 及びカーソルの移動方向を決定することを指示する決定ボタン 6 2 と兼用される。

【 0 0 3 3 】

図 4 は、リモコン 3 0 の側面に配された TV の設定を行うボタンの配置を示す。TV の電源のオン／オフを行う TV 電源スイッチ 7 3、入力を切換える入力切換ボタン 7 4、チャンネルの移動を行うチャンネル＋／－ボタン 7 5、音量の増減を行う音量＋／－ボタン 7 6 が配置されている。

【 0 0 3 4 】

図 3 ～図 5 に示すように、本例のリモコン 3 0 は、表面と裏面と側面とを、再生及び録画の際に使用する主要操作用、再生及び録画の際に補助的に使用する補助操作用及び TV 操作用として、各面ごとに、設定を振り分けるだけでなく、録画と再生とを同一面にありながら、離間することで、操作の誤動作を極力なくするようにしている。これは、録画と再生が同時に可能な記録再生装置において、重要な機能を与えている。

【 0 0 3 5 】

図 8 に、本例の記録再生装置本体 1 の記録再生回路を示す。

地上波チューナ 8 0 より入力された映像信号、オーディオ信号は、第 1 の入力切換回路 8 1 を介して、AD 変換回路 8 2、YC 分離回路 8 3 に夫々出力される

【0036】

YC分離された輝度及び色差信号は、外部入力S端子よりの信号とを夫々切換える第2の入力回路84を介してNTSCデコーダ85に入力し、デコードされた信号は、同期成分に関しては、同期制御回路86に出力し、映像成分に関しては、プリ映像信号処理回路88に出力される。

【0037】

プリ映像信号処理された映像信号の一部は、記録画像の表示のため、再生回路に出力される一方、記録のために、MPEGビデオエンコーダ89に、出力される。

【0038】

同様にオーディオ信号はAD変換された後、MPEGオーディオエンコーダ87に出力され、MPEGビデオエンコーダ89の出力と合わせて、時分割多重して記録される。時分割多重及び分離回路は、MPEGビデオエンコーダ89の出力及びMPEGオーディオエンコーダ87よりの出力の他、外部より入力されるデジタル信号をダイレクトに記録するために、デジタルインターフェース90を介して外部デジタルインターフェース入出力端子であるビットストリーム入出力端子19に接続する。

【0039】

時分割多重及び分離回路91は、ハードディスク93への入出力を行うバッファ制御回路92に出力し、ハードディスク93への記録を行う。

【0040】

ここで、ハードディスク93は、バッファ制御回路92により制御されており、同様の構成を取り得る光ディスクに置き換えることが可能であり、映像の記録、再生スピードが各々10Mbpsとすると、高速な光ディスクでは、40Mbpsのスピードを有しているため、リトライ等の時間を考慮しても、簡単な記録、再生の他、同期記録再生が可能である。

【0041】

時分割多重及び分離回路91よりの再生された再生信号は、MPEG AVデ

コーダ 9 4 に出力されて、映像及びオーディオ信号は各々デコードされる。

【 0 0 4 2 】

MPEG AVデコーダ 9 4 は、プリ映像信号処理部 8 8 からの管面表示用出力と MPEG AVデコーダ 9 4 の出力とを切換え、または時分割混合して OSD 回路 9 6 へ出力される。

【 0 0 4 3 】

OSD 回路 9 6 より出力された信号は、NTSC 用 TV で表示可能な信号に T NTSC デコーダ 9 7 によりデコードされた後、管面上で表示可能な信号とされ、例えば、再生された画像と記録するための画像が同一管面上に各々のウィンド内に表示することができる。

【 0 0 4 4 】

映像信号と同様に、オーディオ信号も記録するための信号と、MPEG AV デコーダ 9 4 の出力とが切換回路 9 8 を介して DA 変換回路 9 9 へ出力される。

【 0 0 4 5 】

尚、本例の映像信号記録再生装置本体 1 では、外部から入力されるデジタル信号が MPEG TS 方式を前提としているため、オーディオと映像信号とを MPEG エンコード後、別々に記録管理するのではなく、TS 方式に準じて記録媒体上で管理している。

【 0 0 4 6 】

図 9 は、本例の映像信号記録再生装置本体 1 によた録画された映像を再生する際に TV 上の管面に表示される再生タイトル画面を示す。

リモコン 3 0 の表面のリストボタンを押すと、再生タイトル画面を管面上に表示することができる。表示されたリスト 1 0 5 は、同一管面上に表示されているリスト選択より、再生リスト、時刻別番組表、CH 別番組表、ジャンル別番組表、マイチャンネル及び予約リストが選択できる。

【 0 0 4 7 】

再生リストは、記録再生装置に録画された番組を表示するものであり、時刻別、CH 別、及びジャンル別の各番組表は、番組とは別のチャンネルで放送される特定の CH の放送で一括して送付される番組スケジュール、各番組の内容をテキ

スト及び番組分類から編成して作成されるリストである。

【0048】

マイチャンネルは、使用者が好む分類や内容を、過去の記録情報より抽出して、番組スケジュール、テキスト、組分類により選択して表示するものである。図9に示されるリスト105は、リスト選択から選択された再生リストであり、リストの上には、NEWソート106、日付ソート107、タイトルソート108及び分類ソート109の選択ボタンが表示されている。これらのボタンのいずれかをカーソルの移動により選択すると、図10に示すフローに従って、各種のソートが選択されてソートが行われる。

【0049】

尚、放送番組に多重された番組に関するデータに基づいて、各種のリストが表示され、ソートが行われるため、データの誤り検出を行うと共に、データの誤り訂正が行われるだけでなく、多数決法により、過去に送られたデータとの多数決により誤りを判別して、正しいデータを抽出するようにしてもよい。

【0050】

NEWソート106は、映像信号記録再生装置本体1に自動的にタイマー録画された録画で、未だ再生されていない録画順に、タイトルを並べ換えするものである。日付、タイトル及び、リモコン30により設定されたインデックスマーク順に同様に並べ換えることができる。

【0051】

並べ換えされたタイトルは、再生を行うことにより自動的に再生することができ、更に、イントロ再生を指定することで、録画された映像の最初の1分間ごとに、順番に再生することが可能である。このイントロ再生の再生時間は、リモコン30からの指定で自由に変更が可能である。

【0052】

尚、各タイトルの初期画面に対応して、サムネール用画像が作成されているため、タイトルを並べ換え（ソート）した後に、サムネール表示を指定することで、タイトル順のサムネール画像を表示することができる。

【0053】

尚、本発明は上述例に限ることなく本発明の要旨を逸脱することなく、その他の種々の構成が採り得ることは勿論である。

【0054】

【発明の効果】

本発明によれば、記録停止を行う録画停止スイッチと再生停止を行う再生停止スイッチとを離間したので、同時記録再生を行う際に同時に管面表示しても操作者が誤操作することなく簡単に操作できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明映像信号記録再生装置の実施の形態の例を示す正面図である。

【図2】

図1の背面図である。

【図3】

本発明記録再生装置用遠隔制御装置の実施の形態の例を示す上面図である。

【図4】

図3の1部切欠側面図である。

【図5】

図3の下面の裏蓋を除いた状態を示す1部切欠下面図である。

【図6】

図3の下面側の裏蓋を開いた状態を示す斜視図である。

【図7】

表示の例を示す平面図である。

【図8】

本発明映像信号記録再生装置の実施の形態の例を示すブロック図である。

【図9】

本発明の説明に供する線図である。

【図10】

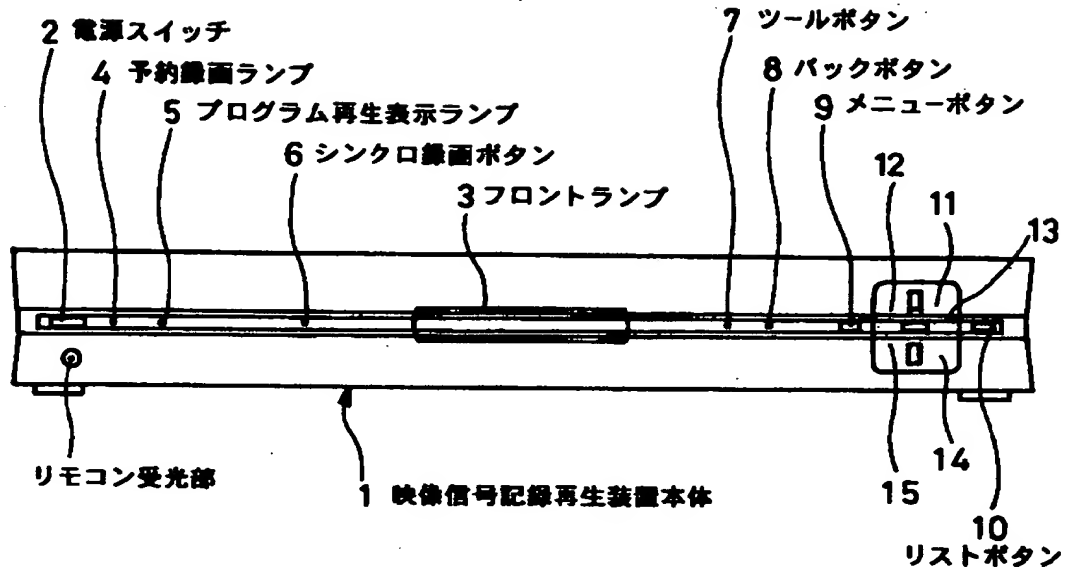
本発明の説明に供する線図である。

【符号の説明】

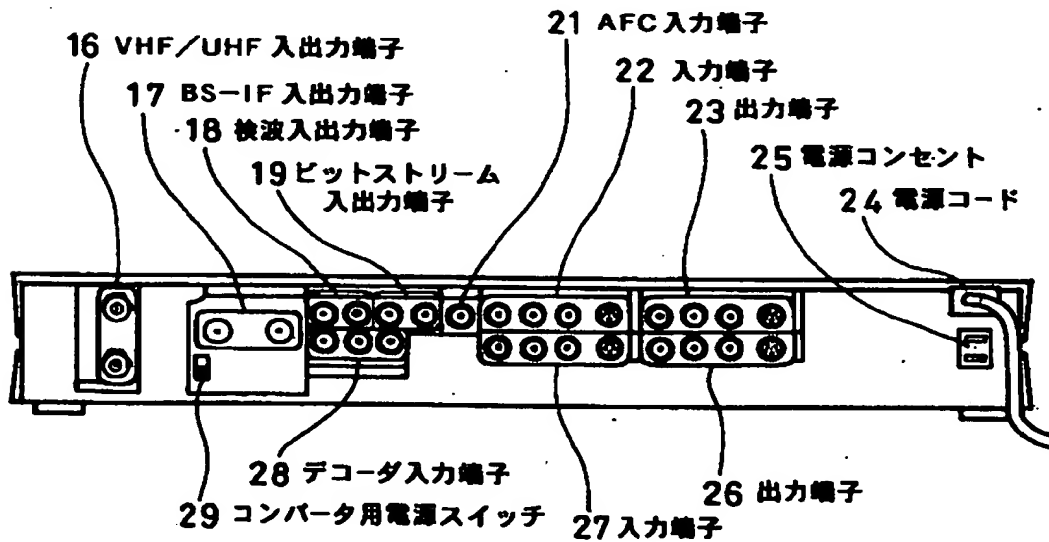
1 ……映像信号記録再生装置本体、2, 3 1 ……電源スイッチ、3 ……フロントランプ、4 ……予約録画ランプ、5 ……プログラム再生表示ランプ、6 ……シンクロ録画ランプ、7, 4 4 ……ツールボタン、8, 3 9 ……バックボタン、9, 3 8 ……メニューボタン、1 0, 4 3 ……リストボタン、1 1, 1 2, 1 3, 1 4, 1 5 ……共用ボタン、3 2 ……録画ボタン、3 3 ……録画一時停止ボタン、3 4 ……録画停止ボタン、3 5 ……録画モニタボタン、3 6 ……チャンネル設定ボタン、4 7 ……ジョイスティック

【書類名】 図面

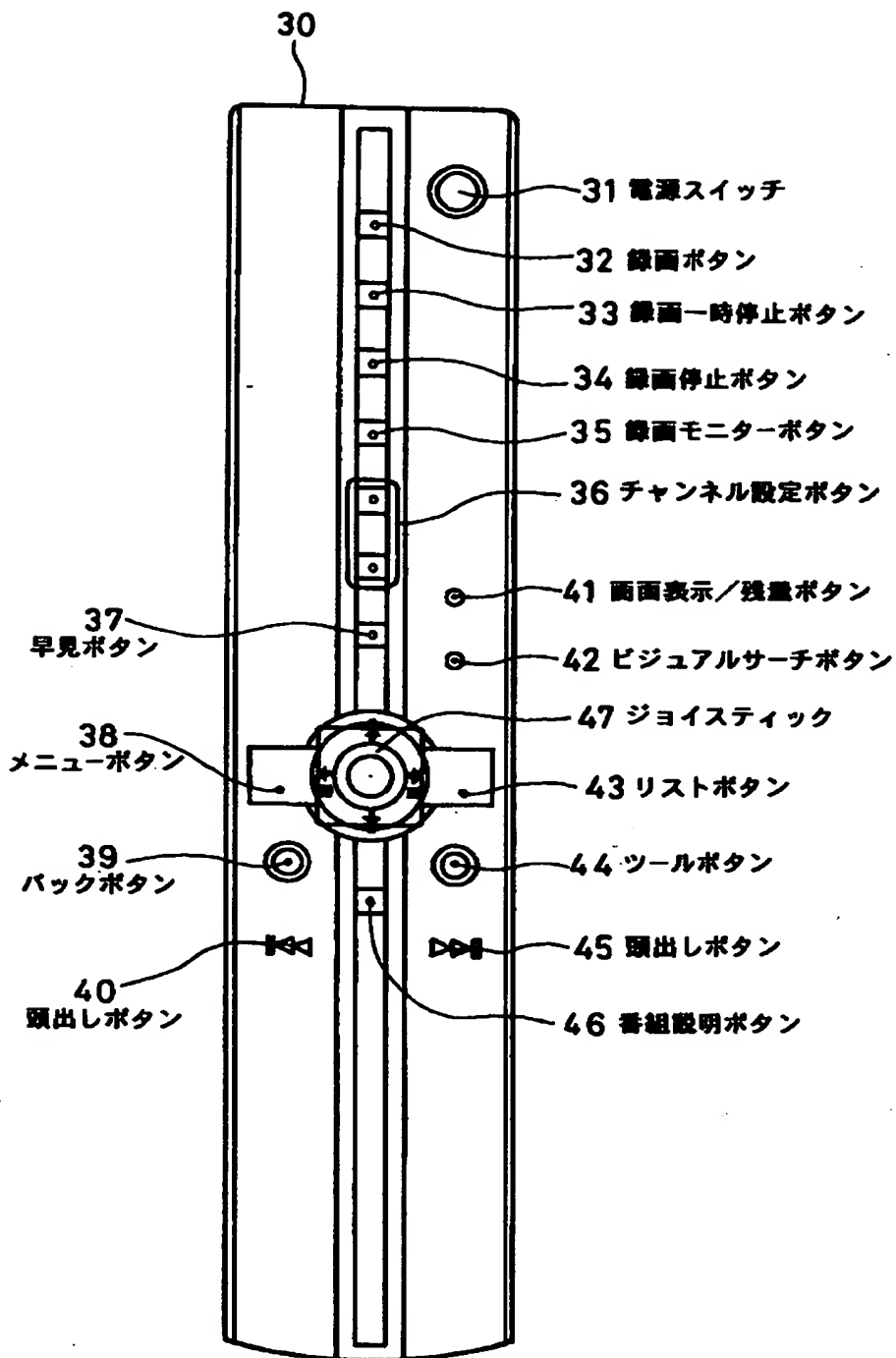
【図 1】



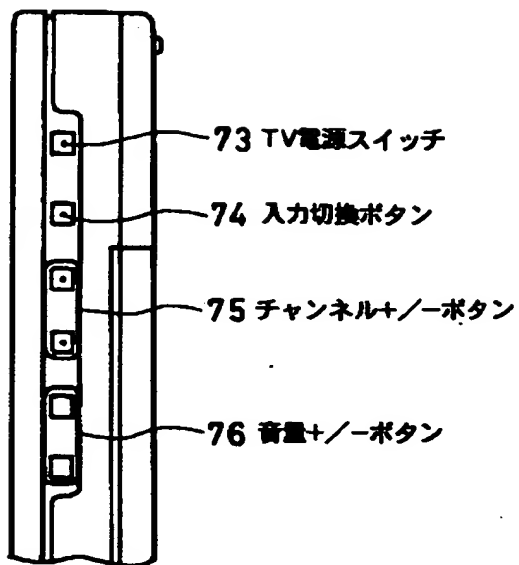
【図 2】



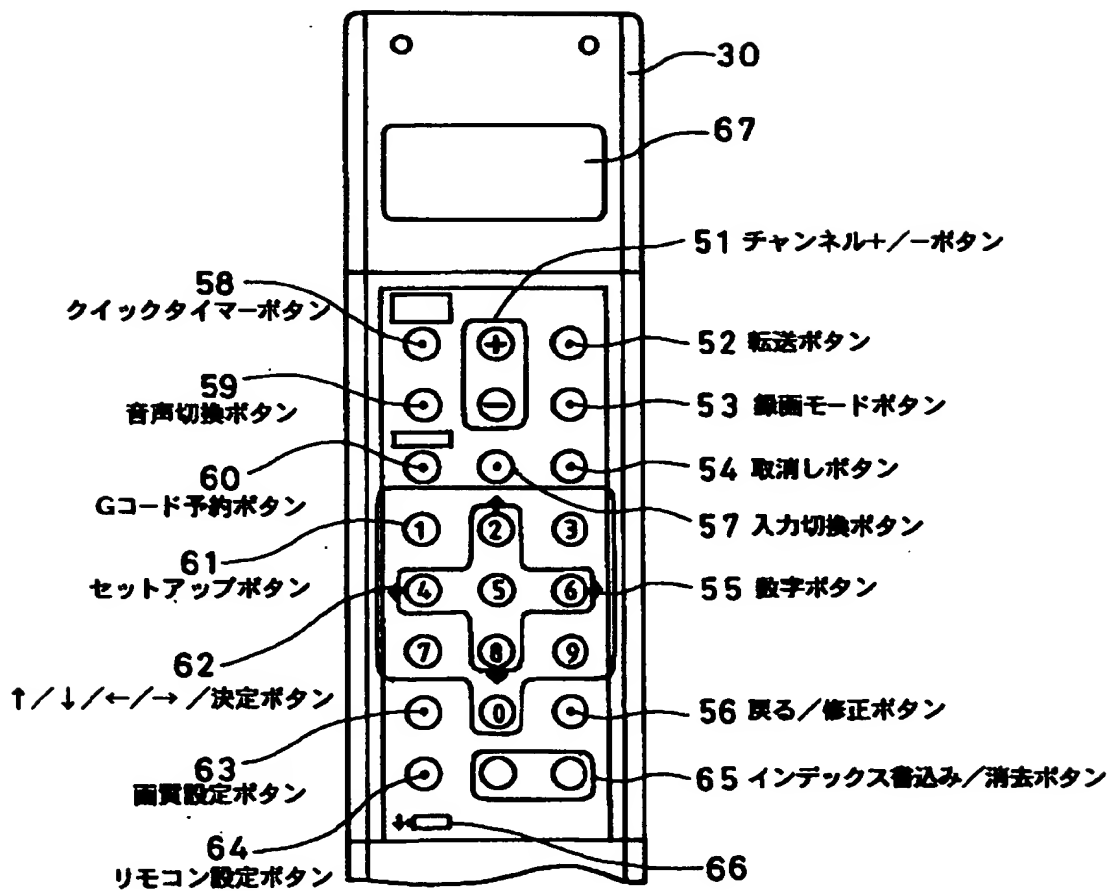
【図3】



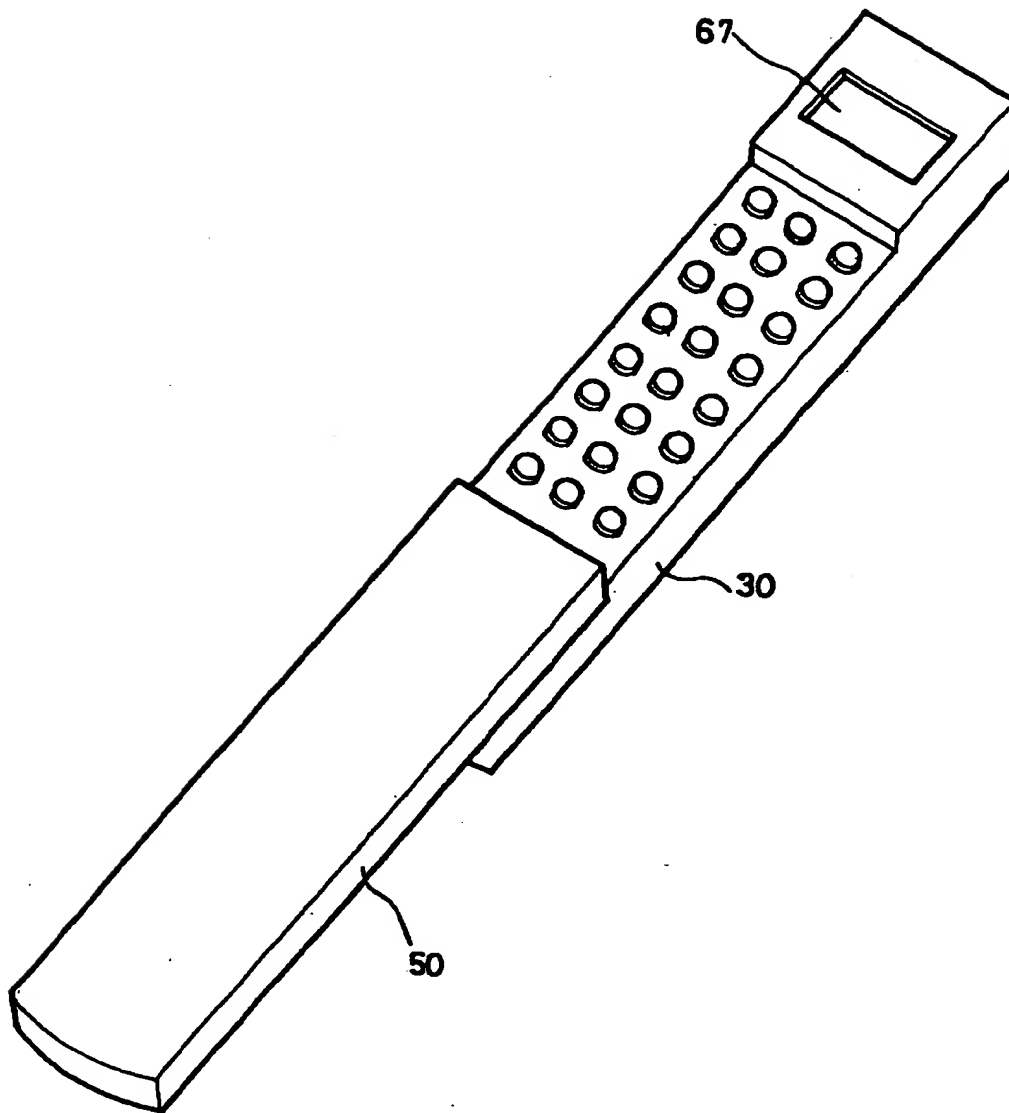
【図 4】



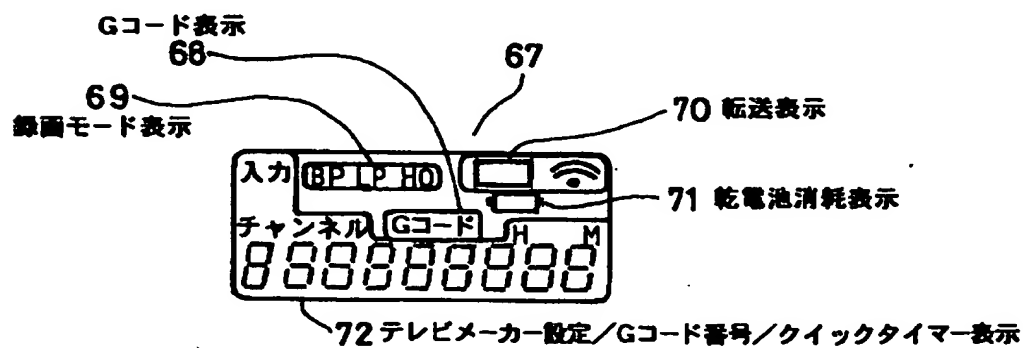
【図 5】



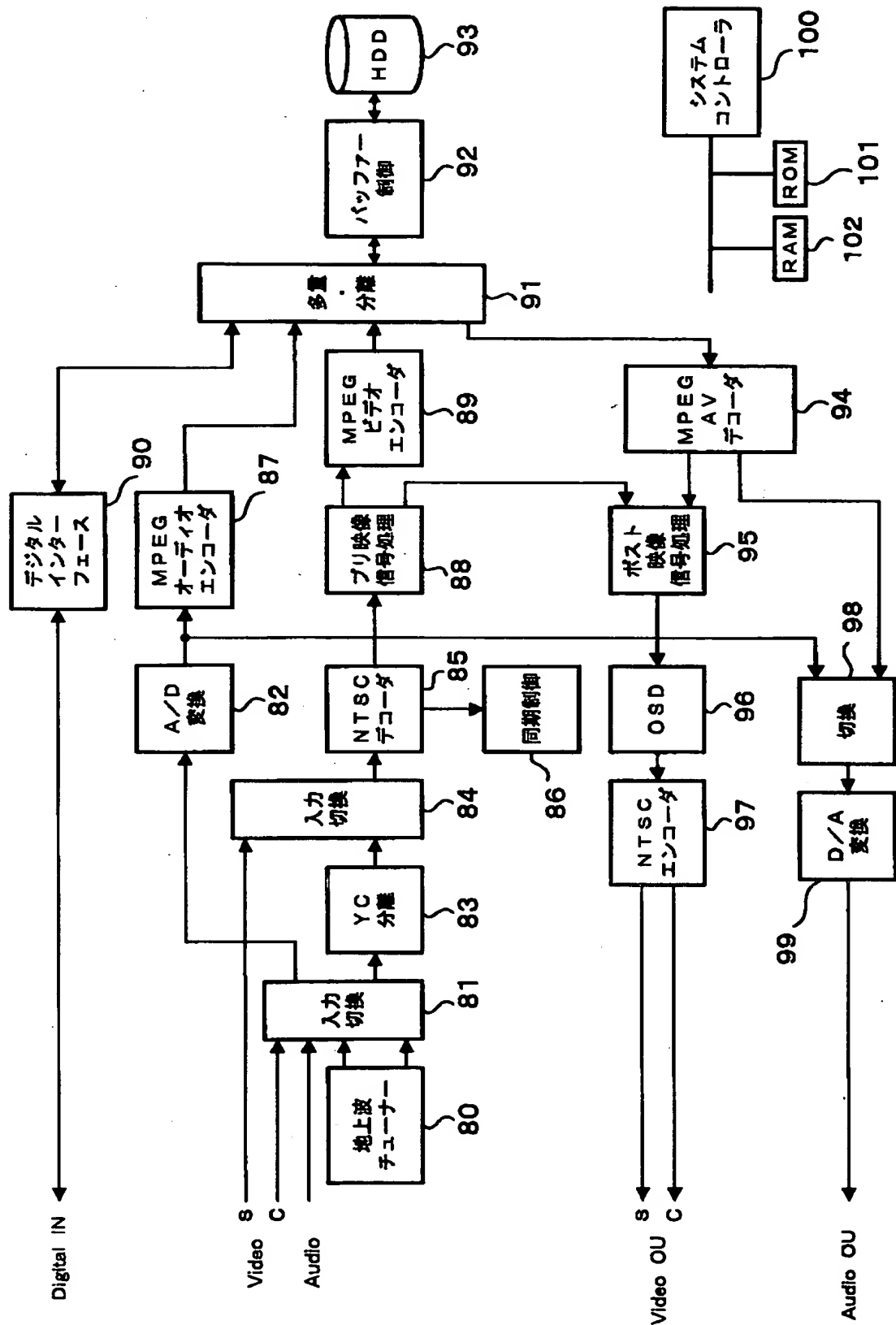
【図6】



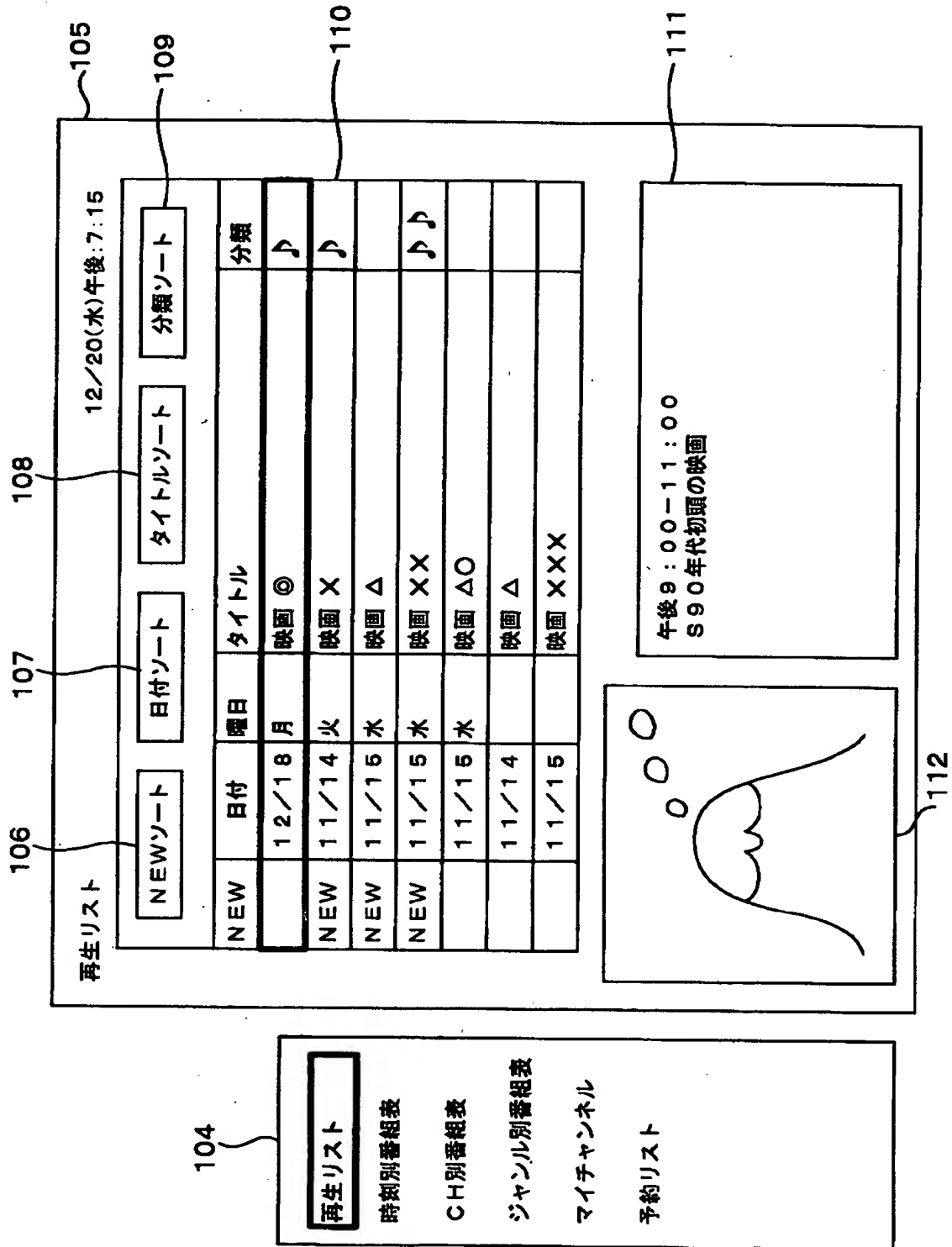
【図7】



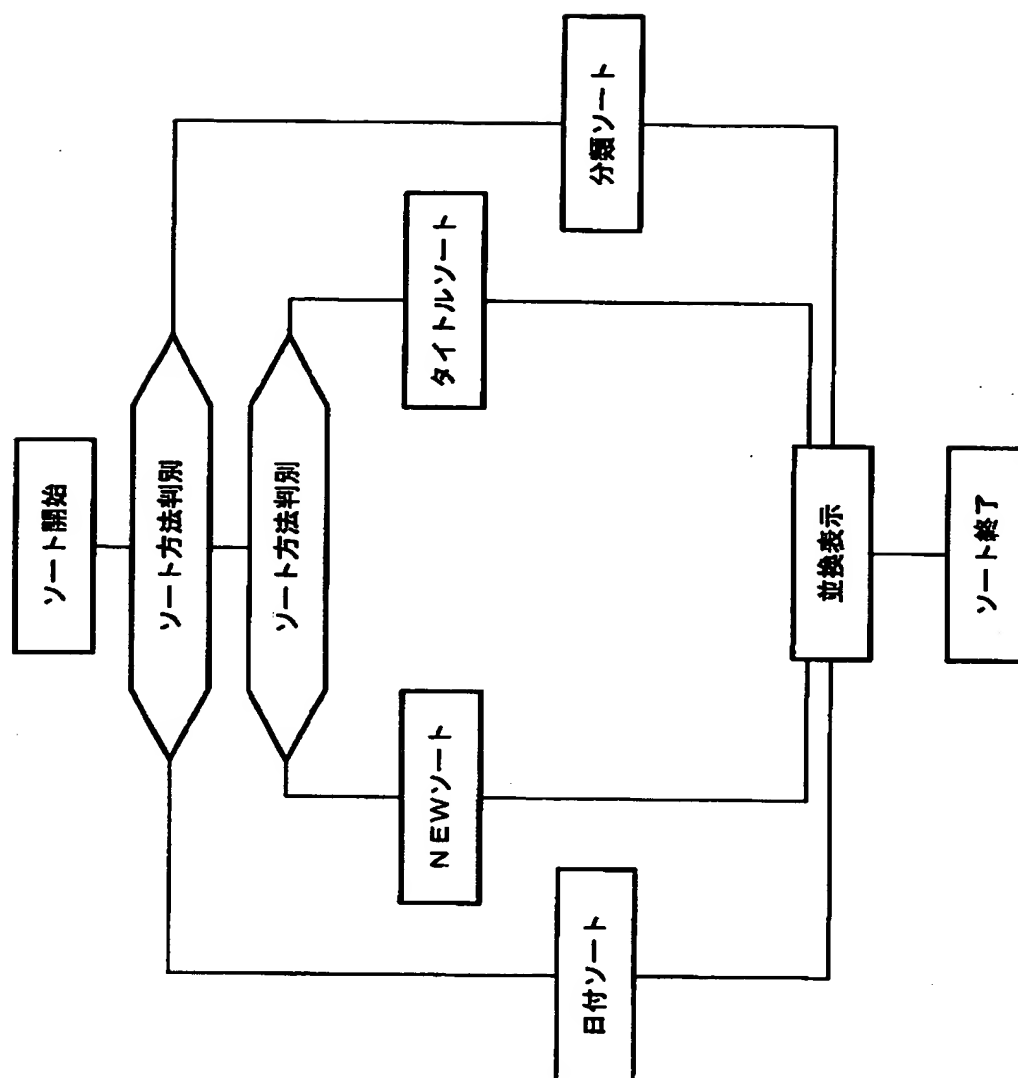
【図 8】



【図 9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 同時記録再生を行う際に同時に管面表示しても、操作者が誤操作することなく簡単に操作できるようにすることを目的とする。

【解決手段】 記録媒体への映像の記録を行うとともにこの記録媒体からの再生を可能とした記録再生装置に使用される記録再生装置用遠隔制御装置であって、遠隔制御装置本体 3 0 の第 1 の面に配置された、映像信号の記録停止を行う録画停止スイッチ 3 4 と、再生停止を行う再生停止スイッチ 4 7 と間を離間したものである。

【選択図】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名 ソニー株式会社